

# 平成19年度 豊島区公社等外郭団体経営評価表

1	名称	財団法人としま未来文化財団			所管課	文化観光課・文化デザイン課・学習スポーツ課 生活産業課・都市整備部都市計画課			
設立月日	昭和60年4月1日	基本財産	500,000 千円		所在地	東京都豊島区東池袋1-20-10			
代表者	理事長 高野 之夫	区出資率	100 %		電話	03-3590-7581			
設立目的	さまざまな人々と共に生き、共に責任を担う協働と共創の文化都市を豊島区に実現するため、創造性のある文化・芸術活動の伸展を図りつつ、コミュニティの醸成とまちづくり活動の促進に関する事業を推進し、もって豊かな区民生活と活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。		顧客(サービス対象)	区民一般					
			事業内容	1. 文化・芸術の伸展に関する事業 2. コミュニティの醸成とまちづくり活動の促進に関する事業 3. スポーツ及びレクリエーションの振興に関する事業 4. 区有施設の管理、運営及び保全に関する事業 5. まちづくり用地・建築物の取得、管理及び処分に関する事業					
財務状況	項目		単位	16年度	17年度	18年度	19年度	備考	
	収入		千円	1,336,384	1,544,898	1,265,035		H16は豊島区コミュニティ振興公社の決算額	
	支出		千円	1,316,341	1,363,342	1,131,767			
	資産		千円	560,131	3,543,418	3,410,245			
	負債		千円	228,107	2,906,823	2,694,305			
	正味財産		千円	332,024	636,595	715,940			
	分析指標	管理費比率		%	8.6	10.3	10.1		
		人件費比率		%	34.3	26.8	28.4		
		収入に占める区補助金割合		%	44.1	21.3	15.9		H16から委託料。
		受益者負担比率		%	76.1	75.4	50.4		
職員一人当たり事業収入		千円	7,939	10,689	9,828		H16の施設使用料は区の歳入となっている。		
組織状況	総職員数		人	114	105	101	103	H16は豊島区コミュニティ振興公社の職員数	
	内訳	役員数		人	24	30	25	25	
		常勤職員数		人	34	28	26	26	
		(うち 区派遣職員数)		人	6	6	7	4	
		非常勤職員数		人	55	47	39	40	16年度は育児休業代替1名を入れている。
		臨時職員数		人	1	0	11	12	
※事務局長は「役員」と「常勤職員」の両方に入れている。									
組織に対する団体の自己評価									
		設問数	「はい」の数	「いいえ」の数		設問数	「はい」の数	「いいえ」の数	
I 計画性	5問	4	1		III 組織の健全性	4問	3	1	
II 成果志向性	5問	5	0		IV 効率性	6問	6	0	
事業分析	指標		具体的な内容	単位	16年度	17年度	18年度	目標	
								目標値	年度
	会員数の獲得		会員数	人	650	734	534	1,000	20
	公演数・入場者数		入場者数	人	14,242	10,065	9,807	12,000	20
	区民教室		(講座数)参加者数	人	12,378	9,496	8,489	12,000	20
	スポーツ・健康教室		(教室数)参加者数	人	19,946	2,384	66	100	20
受託施設拡大		(受託施設数)利用件数	件	71,124	59,321	43,999	65,000	20	

## 一次評価(公社等の外郭団体)

分析表Ⅰ(組織分析)	分析表Ⅱ(事業分析)	分析表Ⅲ(財務分析)
<p>平成19年4月1日現在、財団職員は合計66名であるが、その60.6%が非常勤職員で占められている。区からの派遣は4名であり派遣職員が縮小し固有及び非常勤職員にシフトしている。現状は、一人ひとりの事務量の増加にもかかわらず人員増をしないで、内部努力、係間、課間の応援体制、事務の効率化等を図って対応している。</p> <p>年末から年度初めにかけては、年間契約や決算等に伴う事務が担当係に集中するなど、長時間の時間外勤務をせざるを得ない状況となっている。このような状況が毎年度続いている。</p> <p>これは業務の技術的・専門的な側面があり、短時間の応援が出来にくい面があるためである。今年度より、新会計システムに取り組んでおり、会計士等専門家のノウハウを活用することにより、一層の事務事業の効率化に努めていく。</p>	<p>18年度計画された事業は概ね計画どおり実施された。文化・芸術の伸展に関する事業は、自主事業を中心とする「文化・芸術事業」と文化・芸術活動を支援する「文化・芸術支援事業」からなっており、創意工夫による新たな事業展開を図っている。「お笑いライブ」、「寺内タケシ」、「しまさき席」等は、平成17年度に引続き自前の施設(豊島公会堂)の活用を図り好評であった。</p> <p>「区民でつくる演奏会 いっしょ・いっしょ・みらいへ」公演は友好都市の山形県遊佐町の小学生が出演するなど例年にも増して舞台と観客が一体となった感動的なコンサートが実現した。文化ホールの椅子の取替え工事の完成を記念しての荘村清志のギター演奏は、演奏技法の素晴らしさを堪能させるものであった。地域文化創造館での文化カレッジ事業は、105講座、398回返参加者数8,489人であった。</p> <p>文化・芸術支援事業は区民芸術祭、名曲・名作鑑賞会を中心に実施し、「民俗芸能inとしま」は友好都市である長野県箕輪町、秩父市等を招聘し開催した。</p>	<p>平成18年度の財政状況については、厳しい財政運営を強いられているものの、単年度決算では赤字ではあるが、前期繰越収支差額を含め黒字となっている。厳しい財政運営には変わりなく、今後は、自主事業収入、施設利用料等の増収を図るとともに、自主財源の確保の方策を探っていく。</p> <p>財団は、区が設立した公益法人ではあるが、区のみではなく、区民・利用者の支持はもとより、区内外の企業・団体等の協賛も得て、幅広く支援して貰える財団として、企業・団体・区民等共有の財団を目指していくことが必要である。</p> <p>財団事業のみならず、地域を中心としたイベント等に企業・団体の積極的な参画を促し、さらには、具体的な協賛の形としての資金による支援を継続的に依頼していく。従来以上に企業・団体との協働に取り組んでいく。現在、協賛依頼の方策等をチームで検討中であり、成案を得て協賛委員会につなげる予定である。</p>

### 総合評価

総合評価にあたっては、目に見える指標(件数、参加者数、収入率、執行率等)のほか、財団の戦略的指標を設定する必要がある。そこで、事業実施上及び財務会計上の評価指標を設定することとし、これにより評価を試みる。

事業実施の評価面では、基本的には、財団ならではの事業であり良質で低廉な価格での文化事業・区民参加事業、子供のためのプログラムや一流の講師と低廉な受講料での講座等民間では取組みにくい部分があり、財団ならではの取組みを行なっている。また、地域への貢献度は、民間団体主催・財団共催を含め、各種イベント等の実施にあたっては、財団のノウハウ・人的協力が年を追うごとに期待されている。19年3月の「桜アクションプログラム」事業では、駒込地区で短期間の取組みで、大きな地域貢献ができた。

財務会計上の評価面では、指定管理者としての収支については、区の予算査定の時点から、区の委託料の圧縮という事態があり、厳しい財政運営となっているが、結果として、剰余金を生み出していることは一定の評価はできる。又、利用者の満足度調査の結果からも施設管理運営は一定の水準を維持できた。

## 二次評価(所管課)

分析表Ⅰ(組織分析)	分析表Ⅱ(事業分析)	分析表Ⅲ(財務分析)
<p>新財団への移行後、継続的に定数削減に努めるとともに非常勤職員を活用することにより人件費削減に取り組む姿勢は高く評価できる。</p> <p>今後も引き続き、事業規模に見合った適正な人員管理に努められたい。</p>	<p>主要事業である芸術文化事業において公演数を絞りつつも入場者数の増加を果たし、効率的な運営を行った点は評価できる。</p> <p>一方、友の会会員は前年比3割減であり、広報・宣伝の充実などによる会員獲得及び魅力的なプログラムの提供により会員維持に努められたい。</p>	<p>単年度決算では赤字という厳しい財政運営ではあるものの収入に占める区補助金の割合は減少しており、財政的自立に向けての努力は認められる。</p> <p>一方、受益者負担比率が大幅にダウンしており、事業費削減のための工夫並びに自主事業収入や施設利用料等の増収のための取組みを図られたい。</p>

### 総合評価

地域の住民や団体との協働により、文化的手法を用いたまちの魅力づくりプログラム(TOKYO池袋国際アートフェスティバル2006、桜アクションプログラム等)を積極的に展開したことは、文化・コミュニティ・まちづくりを一体的に担う外郭団体として、努力と工夫の跡が認められ、高く評価できる。

今後は、文化芸術事業について、公演数や集客数という量的側面からの評価のみならず、区の目標である「文化と品格を誇れる価値あるまち」実現に向けての区民満足度などの定性的な指標の設定や分析について検討されたい。また、芸術文化事業の企画・実施レベルの向上を図るため、専門的スキルをもった人材の登用や職員の育成、並びにアートマネジメントの視点に立った事業運営におお一層の力を注がれたい。

## 三次評価

### 総合評価

22年余の歴史をもつ財団として区民にも馴染みが深まりつつある反面、財団として独自の経営責任をもち、独自の事業を運営する公益法人であることを多くの区民が知りえているかは疑問である。区の職員やOBを派遣し、かつ区の施設の運営を委託するだけの外郭団体であるとの観は依然として拭いがたい。

財政面を中心に更なる改善が必要であるが、民間との生き残りを懸けた競争環境にあるという経営改革の方向性や熱意が感じられない。ハコモノ行政を補完する外郭団体としての時代は終わりつつあることを踏まえれば、財団は独自の価値を創出し、区民にその価値を認めてもらえるような活動と成果を証明しない限り、税金を引き続き投入するに足る経営であるかどうかは判断できない。

今後、指定管理者など規制緩和により多くの能力をもつ民間団体との競争に伍していけるだけの経営能力(独自の価値と経営手腕など)を構築し、そのことを区民に説明しないかぎり財団への経営支援は縮小すべきである。

以上のように、経営改善及び事業の見直しが本格的に求められていると考えられることからCとする。

# 平成19年度 分析表 I (組織分析)

<b>団体名</b>	財団法人としま未来文化財団
------------	---------------

## 1. 組織体制等

(1) 役員数(各年度とも4月1日現在)

(2) 職員の年代別構成【平成19年4月1日現在】

【単位:人】

	16年度	17年度	18年度	19年度	
<b>役員</b>					
区四役	2	2	2	1	
区幹部職員	1	1	1	2	
区議会議員	6	8	5	5	
区OB	1	1	1	1	
区議会OB					
民間人	14	18	16	16	
<b>小計</b>	<b>24</b>	<b>30</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	
<b>常勤職員</b>					
区派遣	6	6	7	4	
区OB	8	6	3	4	
固有	20	16	16	18	
<b>小計</b>	<b>34</b>	<b>28</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	
<b>非常勤職員</b>					
区OB				2	
その他	55	47	39	38	
<b>小計</b>	<b>55</b>	<b>47</b>	<b>39</b>	<b>40</b>	
<b>臨時職員</b>					
<b>小計</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	
<b>合計</b>	<b>114</b>	<b>105</b>	<b>90</b>	<b>103</b>	
<b>内訳</b>	男性	50	30	48	53
	女性	64	45	42	50

	50代以上	40代	30代	20代	10代	合計
固有職員	9	4	4	1		18
区派遣職員	1	2	1			4
区職員OB	6					6
非常勤職員	24	9	3	2		38
臨時職員	7	2	2	1		12
<b>計</b>	<b>47</b>	<b>17</b>	<b>10</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>78</b>

(3) 職員の在職年数別構成【平成19年4月1日現在】

【単位:人】

	20年以上	15年以上	10年以上	5年以上	5年未満	合計
固有職員			6	2	10	18
区派遣職員					4	4
区職員OB				2	4	6
非常勤職員				15	23	38
臨時職員					12	12
<b>計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	<b>19</b>	<b>53</b>	<b>78</b>

※事務局長は「役員」と「常勤職員」の両方に入れている。

※H16年度は豊島区コミュニティ振興公社の職員数

## 2. 給与体系

いずれかにチェックをつけてください。

現在の給与体系	チェック	今後の給与体系	チェック	
1. 独自の給与体系	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 見直し予定有り	<input type="checkbox"/>	見直し時期(年月)
2. 区の給与体系準用	<input type="checkbox"/>	2. 見直し予定無し	<input checked="" type="checkbox"/>	
3. その他( )	<input type="checkbox"/>	3. 検討中	<input type="checkbox"/>	

## 3. 経営情報等の公開状況

該当する項目にチェックしてください。(複数回答可)

公開状況	チェック	公開内容	チェック	公開方法	チェック
1. 積極的に公表している	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 貸借対照表	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 事所等に備え付け	<input type="checkbox"/>
2. 開示請求があれば公開する	<input type="checkbox"/>	2. 損益計算書・収支計算書等	<input checked="" type="checkbox"/>	2. 広報紙やインターネット	<input checked="" type="checkbox"/>
		3. 事業計画書等	<input checked="" type="checkbox"/>	3. 議会に報告	<input checked="" type="checkbox"/>
		4. その他( )	<input type="checkbox"/>	4. その他( )	<input type="checkbox"/>

#### 4. 定性指標

「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでチェックしてください。

	評価項目	チェック	
		はい	いいえ
計画性	1. 経営者の経営理念や目標は、設立目的に基づき策定していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 経営者の経営理念や目標は、役員・職員に周知徹底されていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 経営者の経営理念や目標に基づき、中長期計画を策定していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 中長期計画に数値目標が含まれていますか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5. 外部環境の変化等により、中長期計画を見直すシステムはありますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成果志向性	1. 中長期計画に基づいて、年度別の実施計画を策定していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 中長期計画の見直しにより、年度ごとの実施計画を見直すシステムはありますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 年次計画と年次実績との乖離の分析結果を次年度以降の計画に反映していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 実施計画に数値目標が含まれていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 目標の達成度(成果)を分析していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
組織の健全性	1. 職員の能力を引き出すような研修を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 管理職を対象とした研修を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3. 経営上の重要な決定は、理事会等の決議によりなされていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 監査の指摘事項について、改善策を実施していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	1. 事務処理の問題点の把握や原因分析を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 把握された問題点に対する改善を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 管理費削減のための工夫を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 効率的・効果的な事務執行のために外部委託を導入していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 業務委託や物品の購入のコスト低減のために入札方法や契約方法を工夫していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6. 業務委託の場合、取引相手先の見直しを行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	計画性	成果志向性	組織の健全性	効率性
団体の考え方	<p>第三次経営の指針「みらいへ～戦略プラン」の2年次目にあたり、各種事業等において18年度の計画目標の達成状況等を総括し、19年度の実施計画に向けて取り組んでいる。</p> <p>平成19年度は、公益財団法人への移行を前提として、移行計画案を作成する。移行計画案の作成にあたっては、最初の評議員の選任方法、評議員の選解任等定款の変更案も作成し、財団の新制度の移行時期を検討する。</p> <p>平成20年4月には、移行実施案及び新制度の定款を作成し、平成20年10月施行予定に向けて事務作業を進めていく。</p> <p>新公益法人会計基準については、19年4月1日から新基準に基づいて、会計処理を行なっている。</p>	<p>文化芸術事業面では、最新の自前ホールを持たない中、子供たちの育成並びに区民参加公演、友好都市との交流事業などのほか、創意工夫による新たな事業に取り組んでいる。</p> <p>各地域文化創造館では、文化レッズ事業に加え、地域館ならではの「駒込桜アクション」を地域住民とのコラボより、素晴らしい成果をあげることができた。</p> <p>まちづくり事業面では、新たな事業として「まちおこしフォーラム」を開催し、「まちの魅力づくり」のきっかけづくりができ、次のステップアップにつなげていく。</p> <p>平成19年9月にオープンする「豊島区舞台芸術交流センター あうるすぽっと」の開設準備事業として、開設記念の4本の柿落とし公演、施設の管理運営等様々な業務のほか指定管理者への挑戦の結果、指定管理者に指定された。</p> <p>財団のホームページの内容を充実・リンク先の拡大を図り、トータルヒット数が年々増加しており、19年度は50万件に迫る勢いである。</p> <p>財団のPR役としてマスコット(としまくん)の寄贈を受け、ふくろ祭りよりデビューし、多くのマスコミに登場することができた。</p>	<p>第3次経営指針の18年度の実施計画の取組み状況については、検討課題はあるものの、概ね目標は達成されている。19年度の実施計画については、当初の計画のローリングを行い、計画の実現を目指して各マネージャー・館長・統括は計画に対して個人目標を設定し、年間実施スケジュールを作成し取り組んでいる。</p> <p>職員個人については、課で掲げた組織目標に基づき個人目標を設定し年間の目標達成シートを提出させ「目標による管理」を実施している。</p> <p>18年度は、職員研修の一環として普通救命講習会を豊島消防署で2回に分けて実施した。参加職員は、合計37名で、出先施設の職員は全員普通救命講習(AEDを含む心肺蘇生の知識と技能)を修了しており、又、財団本社職員もほぼ全員講習修了書を得ている。指定管理者として、非常時の対応力を身につけておくことにより、区民や利用者から信頼される施設としている。</p> <p>毎月定例で、マネージャー・館長以上を構成員とする「運営会議」を開催し、組織目標の再確認、現状の課題・問題点を指摘し、対応等を協議し、常に問題意識をもち、区民・利用者サービスの向上、効果的・効率的経営をめざしている。</p>	<p>常に、事務事業の進行管理を徹底するとともに、事業開始にあたっては、予算の再見直しを行ない、経費節減につなげている。</p> <p>平成19年3月から、みずほ銀行のe-ビジネスに加入し、各種振込、振替等をパソコンを通して行い、これにより、通帳記帳以外は、直接銀行へ赴く必要がなくなり、事務事業の省力化及び効率化が図られている。</p> <p>また、職員の協力を得て、職員給与の口座振込先を集中し、振込手数料の削減につなげている。</p>

#### 直近の経営改善計画に対する進捗状況

公益法人「新会計基準」への移行については、平成18年4月1日以降開始する事業年度から、できるだけ速やかに実施することとなっていたが、当財団では平成19年4月1日から新会計基準に基づき新様式で会計処理を行なっている。新会計基準へのソフトプログラム変換も支障なく行われ、19年度の決算及び監査資料等も新基準での作成が可能となった。

平成19年度 分析表Ⅱ(事業分析)

財団法人としま未来文化財団

1. 事業概要

団体名	事業概要												
	事業名	事業内容	どちらかを選んでチェック 事業区分	指標名	指標内容	単位	過去の実績		目標	18年度事業量	設立目的と事業の関連性 についての団体の考え方	事業の 順位	
							16年度	17年度	18年度	目標値	年度	事業数(単位:千円)	従職員数(小数点1位)
1	コミュニティ啓発事業	コミュニティ情報の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	財団ニュース 発行	発行回数・部数	回	8	12	12	12	20	7,557	3.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		千部	1,032	1,440	1,440	1,800			
2	友の会運営及びネット・ホームページの運営	友の会運営 ホームページの運営	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	会員の獲得 広報活動	会員数 ヒト数	人	650	734	534	1,000	20	3,134	1.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		回	197,556	253,849	386,719	500,000			
3	地域コミュニティ共生・協働事業	区民まつり (受託事業も有り)	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	開催数・参加 者数	回数・参加者数	回	17	5	6	7	20	653	5.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		人	45,163	9,942	11,568	12,000			
4	芸術文化事業	としま未来シアター	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	公演数・入場 者	公演数・入場者数	公演	23	19	15	20	20	32,895	5.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		人	14,242	10,065	9,807	12,000			
5	芸術文化事業	としま区民芸術祭 (文化祭等含む) その他事業(受託事業も有り)	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	公演数・入場 者	公演数・入場者数	公演	78	61	51	70	20	43,882	7.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		人	23,876	17,193	19,212	20,000			
6	教養文化事業	文化カレッジ事業 (受託事業も有り)	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	区民教室	講座数・参加者数	回	146	108	105	120	20	8,003	12.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		人	12,378	9,496	8,489	12,000			
7	スポーツ・健康事業	スポーツ教室・健康教室 (受託事業も有り)	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	スポーツ教室・ 健康教室	教室数・参加者数	回	536	6	5	8	20	49	1.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		人	19,348	2,384	66	100			
8	スポーツ・健康事業	個人公開事業 (受託事業も有り)	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	利用者数	利用者数	枚	199,702	59,827	1,806	2,000	20	468	1.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		回	19	16	10	19			
9	地域コミュニティ共生・協働事業	施設管理運営事業 (受託事業も有り)	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	受託施設拡 大	施設数・利用件数	回	70,589	59,321	21,200	25,000	20	273,714	28.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		件	10	15	13	25			
10	コミュニティの醸成とまちづくり 活動の促進に関する事業	まちづくり活動支援 まちづくり人材等育成 (受託事業も有り)	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	活動支援 活動助成	支援団体数・グループ数	団体	10	9	18	20	20	5,659	5.0
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標		数	(41)	(748)	41	750			
11	区有施設の管理・運営及び 保全に関する事業	区営・区立住宅等維持管理 区有施設維持管理	受託	受託施設拡大	団地・戸数	数			748		20	80,025	2

【単位：千円】

2. 委託状況

	上段：事業名		委託の内容及び理由	上段：18年度事業費(a)	
	下段：委託先			下段：18年度委託費(b)	
1	区民施設管理運営事業 (ビル維持管理・清掃・警備等会社)	ビル総合管理、清掃、警備、舞台音響関係業務 (受託施設の効率的・効果的管理運営を行うため)	149,139,307	51.7	(b/a) %
2	勤労福祉会館管理運営 (ビル維持管理・清掃・警備等会社)	ビル総合管理、清掃、警備等業務 (受託施設の効率的・効果的管理運営を行うため)	66,104,941	62.8	(b/a) %
3	社会教育施設管理運営 (ビル維持管理・清掃・警備等会社)	ビル総合管理、清掃、警備、舞台音響関係業務 (受託施設の効率的・効果的管理運営を行うため)	53,111,266	38.8	(b/a) %
4	区民・区立住宅受託管理事業 セコム(株)外	警備委託・清掃委託・エレベータ保守委託	80,025,607	58.9	(b/a) %
5	区有施設受託管理事業 ㈱日立ビルシステム外	夜間緊急対応委託	23,104,000	1.6	(b/a) %
6			358,890	#DIV/0!	(b/a) %

3. 前年度の取り組みについて(事業の成果をあげるために工夫した点や反省点等を記入)

コミュニティの醸成とまちづくり活動の促進に関する事業：  
 地域がもつ個性や歴史・文化をまちづくりに生かしていくために、地域の自主的なまちづくり活動を支援した。  
 また、新たな創造都市プラン事業として、としまのまちおこしに向けたまちづくりフォーラムを開催するなど、次年度のまちづくり事業の創出につなげた。さらに、個性ある地域ブランドの創造にも取組み、文化資源の掘り起こし並びに地域の魅力を区内を始め国内外にアピールするなど文化都市にふさわしい豊かで高品位な街のイメージアップを図った。

4. 今年度の取り組みについて(上記3を踏まえて、今年重点的に実施したいと考えている事業内容とその取り組み方法等を記入)

事業内容	(1)舞台芸術交流センターの開館準備と管理運営 (2)第三次経営の指針の推進 (3)文化・芸術事業の体系的展開と、まちづくり事業との有機的な連携 (4)まちづくりバンク事業の本格実施 (5)地域に根ざした地域文化創造館運営の推進
取り組み方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台芸術交流センターの開館に万全を期し、開館初年度の運営を次年度以降の管理運営に活かす。</li> <li>・第三次経営の指針の着実な実現を図り、進行管理を徹底する。18年度の実施状況を検証し、実施計画の見直しにつなげる。</li> <li>・財団の事業体系(「文化創造」、「創造都市」)の有機的融合を念頭に、各事業目的を十分認識し実施する。</li> <li>・まちづくりバンク事業については、幅広いまちづくり活動を「人材」、「情報」、「基金」の側面からも支援していく。</li> <li>・地域文化創造館においては、指定管理者としての計画事業を確実に実施し、その事業内容を含め、地域との共生を視野に新たな事業展開に取り組む。</li> </ul>

## 平成19年度 分析表Ⅲ(財務分析)

<b>団体名</b>	<b>財団法人としま未来文化財団</b>
------------	----------------------

### 1. 財務状況 ※16年度は豊島区コミュニティ振興公社の決算額 【単位:千円未満四捨五入】

			16年度	17年度	18年度	
			<b>収入</b>			
収支計算の概要	基本財産運用収入	ア	8,230	15,193	27,540	
	事業収入	イ	714,571	801,691	746,996	
	区からの受託事業収入	ウ	645,320	755,759	698,610	
	自主事業等	エ	69,251	45,932	48,386	
	内 受益者負担 利用料金除く	オ	64,775	39,368	41,798	
	補助金等収入	カ	582,391	328,498	178,040	
	区	キ	578,691	325,098	172,585	
	区以外	ク	3,700	3,400	5,455	
	寄付金収入	ケ	0	110,094	343	
	特定預金取崩収入	コ	0	0	0	
	その他	カ	7,173	269,378	130,559	
	当期収入合計	サ	1,312,365	1,524,854	1,083,478	
	前期繰越収支差額	シ	24,019	20,044	181,557	
	収入合計	ス	1,336,384	1,544,898	1,265,035	
	<b>支出</b>					
収支計算の概要	事業費(事業費に係る人件費を含む)	セ	1,202,587	911,891	771,762	
	内 区からの受託事業の事業費	ソ	645,320	859,653	688,877	
	内 事業にかかる補助金(人件費除く)	ソ-2	107,879	-	-	
	内 事業にかかる人件費(補助金)	ソ-3	364,230	-	-	
	内 自主事業の事業費	タ	81,341	52,238	82,885	
	内 事業にかかる人件費(自主財源)	タ-2	3,817	0	-	
	管理費	チ	113,754	140,322	114,205	
	内 管理に係る人件費	ツ	83,872	73,290	63,545	
	その他	テ	0	311,129	245,800	
	当期支出合計	ト	1,316,341	1,363,342	1,131,767	
	当期収支差額	ナ	△ 3,976	161,512	△ 48,289	
	次期繰越収支差額	ニ	20,043	181,556	133,268	
	<b>資産</b>					
	財産状態の概要	流動資産	ヌ	218,565	466,922	251,653
		固定資産	ネ	341,566	3,076,496	3,158,592
内 基本財産		ノ	300,000	500,000	500,000	
その他の固定資産		ハ	41,566	2,576,496	2,658,592	
資産合計		ヒ	560,131	3,543,418	3,410,245	
<b>負債</b>						
財産状態の概要	流動負債	フ	198,521	285,365	118,384	
	固定負債	ヘ	29,586	2,621,458	2,575,921	
	負債合計	ホ	228,107	2,906,823	2,694,305	
<b>正味財産(純資産)</b>						
	正味財産(純資産)合計	マ	332,024	636,595	715,940	

## 2. 財務分析比率表

※16年度は豊島区コミュニティ振興公社及び豊島区街づくり公社の決算額を合算している。

【単位：千円 %（小数点第1位）】

比率の名称	算式	16年度	17年度	18年度
<b>健全性</b>				
総人件費（千円）		451,919	365,136	321,314
管理費比率	管理費チ／当期支出合計ト	8.6%	10.3%	10.1%
人件費比率(1)	総人件費／当期支出合計ト	34.3%	26.8%	28.4%
人件費比率(2)	(管理に係る)人件費ツ／管理費チ	73.7%	52.2%	55.6%
基本財産運用収入率	基本財産運用収入額ア／基本財産ノ	2.7%	3.0%	5.5%
<b>自立性</b>				
全事業に占める区受託事業の割合	区受託事業の事業費ソ／事業費セ	53.7%	94.3%	89.3%
当期収入合計に占める区補助金割合	区補助金収入カ／当期収入合計サ	44.1%	21.3%	15.9%
正味財産構成比率	正味財産マ／(負債合計ホ＋正味財産マ)	59.3%	18.0%	21.0%
<b>収益性</b>				
収益事業比率	収益事業の事業費／全事業費			
資産回転率	当期収入合計サ／資産合計ヒ 【単位：回】	2.3	0.4	0.3
職員一人当たり事業収入	事業収入イ／総職員数(役員を除く) 【単位：千円】	7,939	10,689	9,828

## 3. 受益者負担比率

【単位：%、小数点第1位】

	16年度	17年度	18年度
受益者負担(A)/自主事業費(タ)＝	76.1%	75.4%	50.4%